

特別企画

山城ガールむつみさんと掘り起こす備中・戦国山城
猿掛城址、茶臼山城址、洞松寺巡り

2026年1月28日～29日

参加者募集!!!

矢掛の魅力再発見!



① 日目 2026年1月28日(水) ➡ 「山城ガールむつみさん」の山城昔話と茶臼山城址散歩

12:30 矢掛文化センター・リハーサル室開場
13:00～14:30 むつみさん山城昔話
14:45 茶臼山城跡散歩へ出発 (①送迎バス利用 あるいは ②現地集合)
15:00～16:00 むつみさんと散策
16:30 矢掛神社へ徒歩で下って解散

② 日目 2026年1月29日(木) ➡ 「山城ガールむつみさん」のガイドで 猿掛城址東西(真備側口～矢掛口)縦断登山+洞松寺 庄元資墓参

8:50 ①送迎バス利用組 やかげ町家交流館発 三谷駅経由 登山口
9:30 猿掛城真備側登り口で現地集合組と合流 登山開始(高度差約200m)
12:00 矢掛側登山口に下山。洞松寺へ。
12:30 参詣後解散。
12:45 ①送迎バス利用組やかげ町家交流館着

参加方法

参加予約➡参加希望日(両日 又は どちらか一日)を参加申込用紙に記入の上、郵送又はメールで次にお知らせください。
「やかげを掘り起こそう会」事務局 TEL:080-3390-6935(金子) 〒岡山県小田郡矢掛町中1208-1
mail:yakageshiro@gmail.com

参加費➡2日間をカバーする共通料金です。

①2日間送迎/バス利用:¥2000/人(含むバス送迎、ガイド、資料、29日昼食)

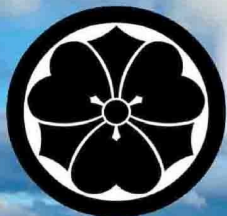
②現地集合:¥1000/人(含むガイド、資料、29日昼食)

予約後郵便振込をお願いします。01320-4-91379 加入者 金子晴彦

28日夜の宿泊が必要な方は新装なった「やかげ一譚(いったん)」をご紹介します。

コース状態➡茶臼山は高度差約50m散策路が整備されています。猿掛山は高度差約200m、かなり急な登山道ですので足首を保護できる軽登山靴がおすすめです。
1月23日時点の気象予報次第で催行中止となる場合もあります。

主催:やかげを掘り起こそう会 共催:備中矢掛宿の街並みをよくする会、
後援:矢掛町、矢掛町教育委員会、矢掛町観光交流推進機構、猿掛城址を守る会、倉敷市教育委員会



三村氏のかたばみ

備中猿掛台戦戦場図・新旧比べ

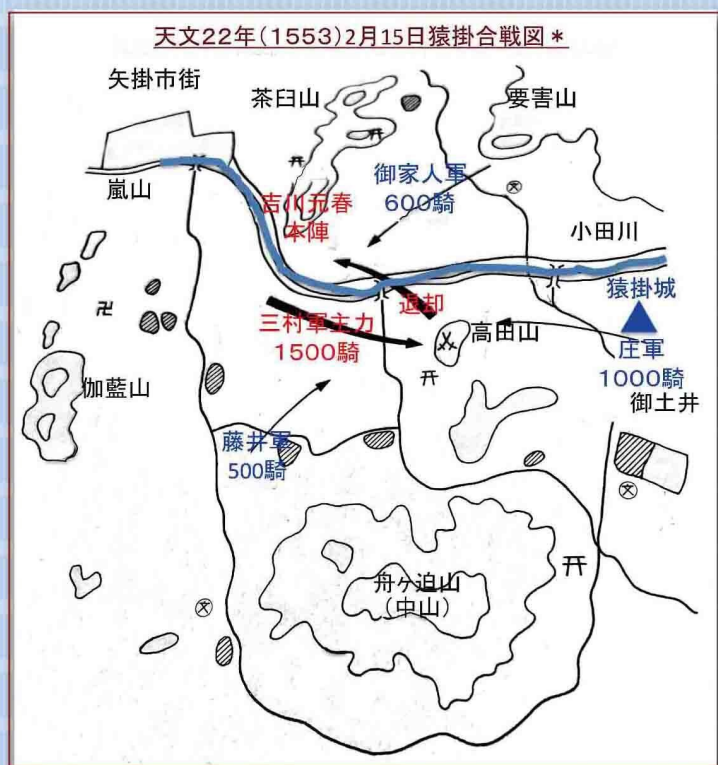


庄氏の下がり藤

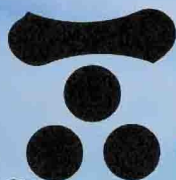


茶臼山

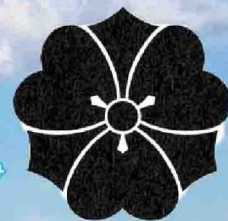
①里山田の水田より北方茶臼山方面を見る



*矢掛町史P273猿掛合戦略図(昭和4年浅尾儀一郎氏作図)より作成



毛利氏の長門三星

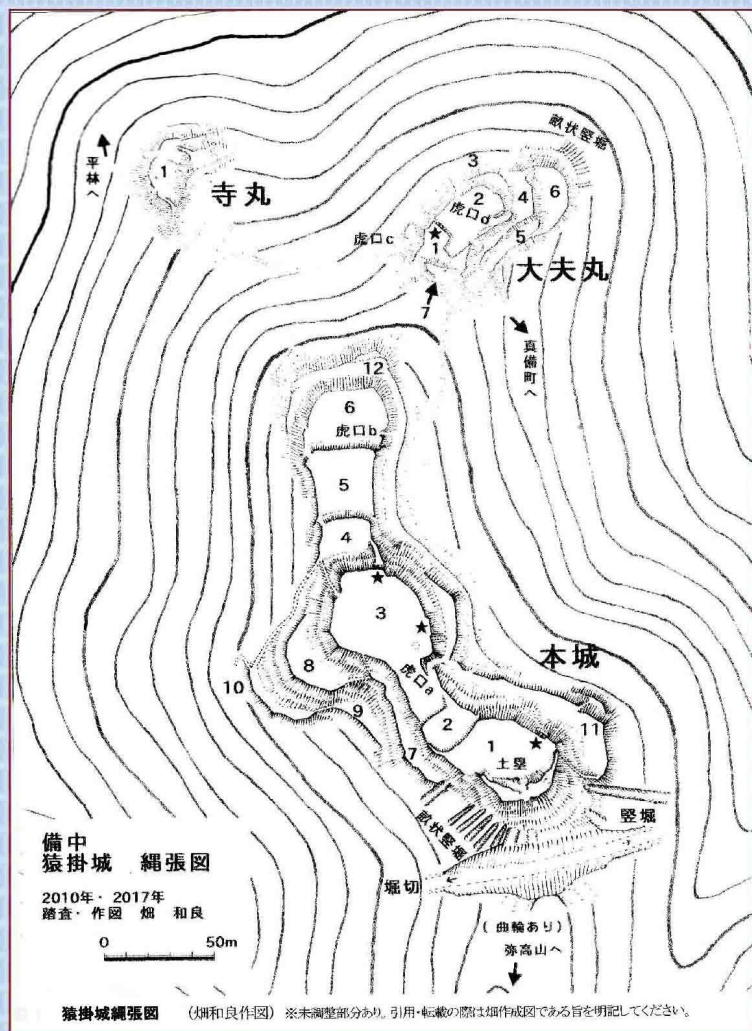


宇喜田氏の剣かたばみ



猿掛山

②里山田の住宅地より東方ノ猿掛山方面を見る



三の丸址からの伽藍山



本丸からの高松城方面



二の丸址の疎林



矢掛側の急坂



西からの朝の猿掛山



小田川のシジミ採り

備中猿掛合戦前後の動向

【天文20年(1551)】穂田(庄)実近(猿掛城城代)と三村家親、頂見山(いたみやま 井原市山野上町)で合戦、三村氏敗北(頂見山合戦)。この折実近、頂見寺の梵鐘を持ち帰り、猿掛城の号鐘とする(この鐘は永禄11年/1568、宇喜多氏が猿掛城を攻撃した際小田川に転落、それを拾いあげた地元の農民から翌年小田乗清が買い上げ、今の寺宝院に寄進している)。

【天文22年(1553)】2月初旬 毛利元就父子3人(毛利隆元、吉川元春)、芸州吉田より備中に出陣、出部、井原に陣を張る。

2月15日:吉川元春、矢掛の茶臼山麓に陣を張り、配下の三村家親、先陣として1500騎、猿掛城下の屋陰(矢掛)に攻めかかり、家々に放火。

これに対し、穂田実近、毛利・三村方足軽隊の深入りにつけ込み、1000騎をもって反撃、三村家親を突き崩し、志道元信ら毛利氏宿老の子弟を討ち取る。吉川元春、庄軍の追撃を押しとどめたものの毛利軍敗退。庄氏は毛利氏の力を勘案、本格的対立を避け、毛利・三村氏との講和を申し込む。最終的に講和がなり、三村家親は長子元祐(もとすけ)を庄実近の養子とし、猿掛城主とし、実近は猿掛城の大夫丸に隠居。(猿掛合戦)。

これに伴い、毛利氏は備中進出を決断、三村氏と盟約。

松山城主庄為資死去(1553.2.15)、長子高資(たかすけ)松山城主に。尼子と提携するも、尼子より監視役・吉田左京亮義辰が送り込まれ、高資これを嫌い猿掛城に移動。1561に復帰。その後1571に庄高資は毛利・三村軍に討ち取られ、庄氏は出雲に敗走、366年に渡る一帯での活動を終える。

【猿掛城】

猿掛城は矢掛町と倉敷市にまたがって広がる丘陵から北方に張り出した標高約250mの猿掛山に築かれました。

北麓には小田川が流れ、さらに小田川と並行するように山陽道が通る水陸交通の要衝地です。猿掛城は鎌倉時代に庄家長によって築かれたと伝わります。庄氏は猿掛城を本拠とし、室町時代には備中守護代になるほど勢力を拡大しました。

15世紀終わり頃、備中守護細川氏と細川本家である細川京兆家が激しく対立すると、庄家当主元資は京兆家の後ろ楯を受けて守護細川氏と対立。それにより、猿掛城は守護方の軍勢の攻撃を受け、元資は逃亡、家臣香西五郎衛門は城内で切腹したと伝わります。その後、守護細川氏と庄氏は和睦しました。

天文22年(1553)、尼子氏の配下にあった庄氏と、毛利氏と結んでいた鶴首城(成羽)主三村家親の対立により、「猿掛合戦」と呼ばれる戦いが起き、城下で激しい戦いが繰り広げられたといえます。

結果、庄氏は三村氏から元祐(元資)を養子として受け入れることを条件に和睦を結び、三村氏の配下に組み込まれていきました。このとき、猿掛城は城代の庄実近が守っていましたが、三村氏の勢力下に下ったため、実近は山頂エリアではなく中腹の太夫丸に移ったと伝わります。

しかし、天正3年(1575)三村氏が毛利氏から離反すると、猿掛城は毛利氏から攻撃され落城。以降、毛利元清(元就の4男)が猿掛城主となり、毛利方の城になりました。水攻めで有名な豊臣秀吉による備中高松城水攻め(1582)では、猿掛城に毛利輝元(元就の孫)が入り、毛利方の本陣になりました。

元清が猿掛城より少し西に位置する茶臼山に城を築き移ると、猿掛城は地域の拠点としての役目を終えたと考えられます。



歴×トキ QR



【庄氏ってどんな氏族?】

庄氏は武蔵児玉党を出自とします。児玉家弘が児玉郡栗崎を(埼玉県本庄市)本拠として、庄氏を名乗りました。その後、庄家長の時代になると、源頼朝が挙兵。庄氏は頼朝の挙兵に従いました。家長は平家追悼の一ノ谷の戦いや壇ノ浦の戦いなどで活躍し功を上げました。家長は平清盛の5男重衡を生け捕りにしたと言います(1184)。この功で備中草壁荘を本拠とする備中庄氏が誕生しました。

その後、武蔵国から本家が移住して備中国で勢力を拡大します。庄氏は猿掛城を本拠とし、室町時代に備中守護代になるほど勢力を拡大しました。まさに備中の戦国時代の主役とも言える存在です!



平重衡生け捕りの図
(平家物語絵巻/林原美術館蔵)

山城ガールむつみさんと掘り起こす備中・戦国山城

むつみさん講演・山城昔話、猿掛城址、茶臼山城址、洞松寺めぐり(参加申し込み用紙)

以下に記入の上、次のどちらかで

①郵送(〒714-1215 岡山県小田郡矢掛町中1208-1 金子晴彦宛)

②メール(yakageshiro@gmail.com 金子晴彦宛)お送りください

希望参加日(○印で囲んでください)	2026.1.28,29両日	1.28のみ	1.29のみ
参加方法(○印で囲んでください)	バス利用の方は29日の希望乗車場所(28日は文化センターで乗車)を選んで下さい。 ①やかげ町家交流館 ②井原線三谷駅(上り 9:08,下り 9:16着)		現地集合
お名前			
ご住所	〒		
電話番号 メールアドレス			
参加費お支払い 予約	予約時に郵便振替払込をお願いいたします。 口座番号:01320-4-91379 口座加入者名:金子晴彦		